

書塾の仲間たち

第 264 回

香川書道教室（香川県高松市）



● 書塾からひとこと ●

当書塾は、弘法大師が開いた「真言密教」の五色台にちなんだ青黄白赤黒の五つの峰のある五色台のふもとに位置しています。山と海の自然豊かな環境の中、小学生を中心として幼児から大人まで幅広い年齢層の方が書道を学んでいます。

コロナ禍を機に、世の中はインターネットの利活用が随分と進みました。特に小学校・中学校では、パソコンを使った授業が増え、子どもたちが鉛筆を持ってしっかりと文字を書くことが激減したように感じます。このような時代だからこそ、丁寧に文字を書いて、「心を整える」という日本人ならではの精神を絶やさず、文字を書くことの楽しさや充実感を伝えていきたいと、日々考えながら指導しています。

指導者としては、指導するだけでなく、子どもたちにも「どうしたら文字が綺麗に見えるか、格好よくなるか」を自ら考え、感じながら書いてもらいたいと考えています。子どもたち同士で話し合う中から自ずと気付きが生まれてくるように、自分たちで「考える」ことも指導に入れつつ、お互いに学んでいます。

最初は運筆のお稽古を通して、鉛筆の持ち方や姿勢などの基本を習得し、簡単な文字から練習を重ねた後で、月例作品に挑戦します。昇級昇段は、生徒さんたちのやる気アップと目標設定にはかせないところで、月刊「書写書道」への出品はともありがたいことだと感じています。また、月例作品だけでなく、全国のコンクールや地元開催の大会などにも積極的に参加して、日々気持ちを高めるよう努めています。

「美しい文字を書ける」ということが将来子どもたちの自信となり、彼らの精神的な支えの一つになればこの上ない幸いです。

香川書道教室 東條 慶美

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

早春の 淡雪

中学一年 堀 あず紗



憧れの先輩を目指して

つくば市立学園の森義務教育学校中学二年 堀 あず紗

私は、姉の影響で書道を始めました。その頃は、「書道」をあまり分かっておらず、「週に一回の習い事」に過ぎませんでした。

小学五年生になると、だんだんと課題の文字が難しくなり、四文字を書く課題も多くなりました。配置が上手にできなかったり、文字同士がぶつかったりしたときもありましたが、先生が優しくアドバイスをしてくださいました。そうした、上手に書けたときの達成感や、努力が必ず報われるところが、学校の書道の時間や家族に「字が上手だね」とほめてもらうことが嬉しくて、気がつくくと書道のとりこになっていました。また、字を書くだけではなく、筆や筆置き、文鎮をコレクションすることも好きで、祖母と東京の書道用具のお店や展覧会に行ったりしました。

最初の「週に一回の習い事」という印象はすでに消え去って、私にとって書道は特別なものになっていました。レッスンの数を増やし、ますます書道に「沼る」なか、私は書道教室に通う高学年のお姉さんたちに憧れを抱くようになりました。「お姉さんたちのように筆を自由自在に操り、お手本と遜色ない作品を書くことができるようになりたい」と、先輩の字を見よう見まねでまねしてみたり、書いているところを盗み見したりしました。そう簡単に先輩に近づくことはできませんが、練習を重ねるうちにできることが増えていき、書道がさらに楽しいと思えるようになりました。

そして最近、全国書道展で推薦賞を頂くことができました。母や父、祖母からたくさん祝われて、大変嬉しい気持ちになりました。

今度は私がまねされる先輩になりたいです。まだまだ私は下っ端の先輩ですが、いつか「憧れのお姉さん」にふさわしい字を書きたいです。

私と書写書道 第264回

落髮

貴美子



書道で楽しく豊かな人生を

東京都板橋区 松日楽 貴美子

私は幼少期から高校生の頃まで書道を習っていました。両親の勧めがきっかけで始めましたが、毎週日曜の朝は書道教室に行くのが習慣でした。当時、書くことはもちろん、静かに集中する時間がとても好きでした。進学・就職すると、残念ながら筆を持つ機会は今無くなりましたが、いつかまた書道を始めて生涯の友にしようと思っていました。

子育てがひと段落したある時、息子から書初めの宿題を教えてほしい、と言われました。ところが、三十年振りの筆は思い通りに動かず、上手に書えることができませんでした。驚きや悔しさと同時に「かえってやる気が溢れてきて、もう一度書道を学び直したい」「それは今でしょ！」と心の声が聞こえてきたのです。これが私の再スタートのきっかけになりましたが、長いブランクがあったため、なかなか踏み出せずにいました。そんな中で現在通う書道教室と出会い、今年で七年目になります。先生は書だけでなく、あらゆる美しいものの探求心、そして抜群の行動力をお持ちです。先生のご指導は愛のあるスパルタ式で、現在、毛筆・硬筆、五書体を勉強中です。

とはいえ、お稽古はいつも和気あいあいとした雰囲気、知識豊富な教室の先輩方からも楽しくアドバイスを頂いています。書道を通じての人の出会い、ご縁を大変ありがたく感じ、大切にしていきたいと思っています。

現在の目標は、月刊「書写書道」を遡って読み返し、理解を深めることです。まだ書いたことのない書体にも取り組んでみたいと思っています。いつか、好きな言葉を書いて、篆刻や墨絵で作品を作りたいです。また、書道の楽しさを子どもたちや海外の人々にも広めたいとも思っています。……夢は膨らむばかりです。